

H20年度決算審査認定される 日本共産党など5人が反対

9月30日、沼田市議会定例会最終日において、H20年度沼田市一般会計及び特別会計8件の歳入歳出決算認定について、並びにH20年度沼田市水道事業決算認定について採決が行なわれ、賛成多数で認定されました。日本共産党2人の他3人、計5人が反対しました。

4日間にわたる審査の中で、明らかになった問題点などを順次報告します。

経常収支比率は104.5%、実質公債費比率19.6%

H20年度は、財政危機に直面しているという理由で、行財政改革と称して、団体補助金一律20%、事業費補助金一律10%の削減など補助金の削減。下水道料金など公共料金の値上げ、一般職員の給料5%削減、特別職給料の削減など徹底した歳出削減を行ないましたが、経常収支比率は前年比2.5%良化されただけで104.5%となりました。実質公債費比率は0.2%悪化して19.6%でした。

世界的不況の影響を受けた産業もあり、法人市民税の大幅な減少も一つの要因ですが、農業、木工業、商業など地場産業が年々衰退していることが大きな原因ではないでしょうか。

議会のうわさ話？

「今となっては遅いけれど、利根町の大部分の人は合併しない方がよかったと思っている。」とよく聞きます。

利根新栗原橋が完成

地元念願の新栗原橋が完成しました。現在行なっている取り付け道路が整備されれば供用開始となります。左側は旧橋。バックに見えるのは利根振興局。



2009年10月4日 No.492

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

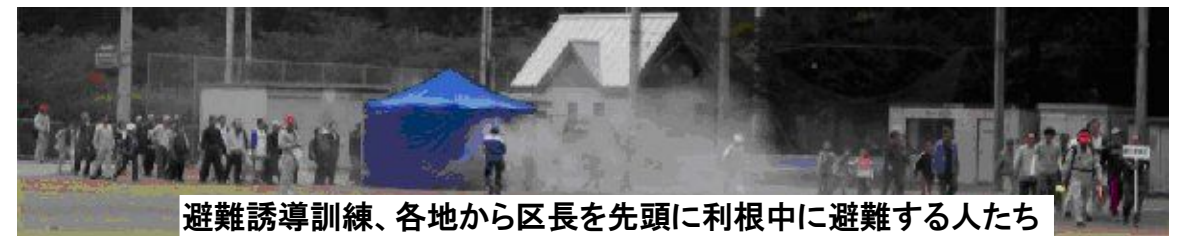
井之川博幸議員活動地域版部内資料

利南運動広場は4億円の花畑

H19年度に4億6千万円で買収した「利南運動広場整備用地」は、H20年度には遺跡発掘調査が行なわれました。しかし、今後の施設整備については、まったくめどが立たず、コスモスの花畑が長年続くことになりそうです。この問題では、日本共産党市議団をはじめ何人も議員が、市の方針に異議を唱え、他の提案もしてきましたが、市長は、まったく聞く耳を持たずに、もともと無理な計画をゴリ押しして、多額の財政を投じて、市民の役に立たない「市有地」が増えていくだけとなってしまいました。

この事業とセットになって県企業局が開発した「沼須産業団地」の企業誘致もまったく進展がなく、このまま企業誘致がないと4年後に沼田市が約3億円で引き取る約束になっています。

このような無理な開発に多額の財政を投じるのではなく、大変な市民の生活や営業を応援する施策こそ必要です。



避難誘導訓練、各地から区長を先頭に利根中に避難する人たち

地域防災訓練行なわれる！

9月27日、利根町利根中学校において、沼田市地域防災訓練が行なわれました、利根町を中心に約400人が参加しました。



校舎からの救助訓練



消火器訓練



放水訓練